

平成 27 年 4 月 1 日

全国健康保険協会 沖縄支部
協会けんぽ<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成 20 年に政府管掌健康保険を引継いで設立されました。
全国で約 3,600 万人、うち沖縄支部で約 52 万人の方が加入しています。

中性脂肪に着目！協会けんぽ沖縄支部『データヘルス計画』

— 平成 27 年度より『データヘルス計画』に基づく保健事業を実施 —

協会けんぽ沖縄支部では、平成 27 年度から平成 29 年度までの3ヶ年間で実施する『データヘルス計画（第一期）』を作成し、今般、国に対して報告したところです。平成 27 年度より『データヘルス計画』に基づいた保健事業を実施します。

沖縄支部における『データヘルス計画』は、「**男性被保険者の脂質異常者（中性脂肪）の割合を5%減らす**」ことを最終的な目標としております。その背景として、沖縄県は働き盛り世代の年齢調整死亡率が男女ともに全国1位であり、その一因として「脳血管疾患」や「虚血性心疾患」による死亡率の伸びが全国1位という現状が考えられます。そのため「脳血管疾患や虚血性心疾患のリスクに直結」しており、かつ「生活習慣の改善により最も改善効果が期待できる指標」である「中性脂肪」に着目しました。

また、この目標を達成するための手段として、①事業主と連携した健康づくり事業（福寿うちな～運動）の実践 ②健診受診率の向上 ③特定保健指導実施率の向上 ④未治療者の医療機関への受療勧奨の4つを柱とし、それぞれ個別**具体的な施策**を策定のうえ実施していく方針です。

【具体的な施策の例】

上記①に関して・・・「福寿うちな～運動〔日々の運動（ウォーキング）習慣を身につけていただくとともに事業所における健康管理意識の向上を目的とする〕」への参加者の拡大・拡充を図る

上記④に関して・・・重症化予防への取組みとして「健診結果で中性脂肪値が受診勧奨判定域にある方」に対してお手紙・電話・訪問等により受療勧奨をおこなう

なお、「データヘルス計画」の詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

協会けんぽ加入者（ひいては沖縄県民）の健康増進に向けて、ぜひ「データヘルス計画の概要」や「データヘルス計画に基づく保健事業の推進」等につきまして、各種報道等で取り扱っていただきますようよろしくお願いいたします。

データヘルス計画とは、・・・保険者が保有する健診・医療データの分析に基づいて実施する効果的・効率的な保健事業のこと。国民医療費が高騰するなかで、その適正化を図り、国民皆保険を持続可能な制度として堅持していくことを目的に「日本再興戦略」において法制化され、平成 27 年度より全ての被用者保険を対象に実施することが義務付けられた。

【添付資料】

- ・ 沖縄支部の健康課題
- ・ 中長期的・短期的目標の対象疾患
- ・ 平成27年度「沖縄支部データヘルス計画」概要
- ・ 沖縄支部データヘルス計画（概要図）

【お問い合わせ先】

〒900-8512 那覇市旭町 114-4 おきでん那覇ビル 8階
全国健康保険協会沖縄支部 企画総務グループ 渡口・
保健グループ 新垣
TEL：098-951-2246 （企画総務グループ）
098-951-2011 （保健グループ）
FAX：098-951-2017

沖縄支部の健康課題

背景

- 沖縄県は**働き盛り世代（65歳未満）の年齢調整死亡率**が男女ともに全国第1位（2012年度人口動態調査）となっており、その主な対象疾患である「**虚血性心疾患**」や「**脳血管疾患**」による**死亡率の伸び率**（1995年と2010年を比較）も全国第1位という状況。

2011—2012年度健診結果データ分析結果

- 男女とも**中性脂肪高値**が多く、全国との比較でも突出しているうえ、経年悪化がみられる。
中性脂肪 ≥ 150 mg/dl（男性）沖縄35.4% 全国平均29.0%
中性脂肪 ≥ 150 mg/dl（女性）沖縄13.3% 全国平均 9.2%
- **腹囲異常者**が多く、全国との比較でも突出しているうえ、経年悪化がみられる。
腹囲 ≥ 85 cm（男性）沖縄59.1% 全国平均47.2 %
腹囲 ≥ 90 cm（女性）沖縄18.2% 全国平均12.9 %
- その他の特徴として、**BMI、血圧・血糖**の平均値において高値者が多いものの、経年悪化はみられない。

中性脂肪高値がなぜ悪いのか・・・

本来脂肪を溜める場所でない血管や肝臓、心臓周囲に脂肪がたまる⇒**異所性脂肪**
異所性脂肪から出る飽和脂肪酸はインシュリンの作用を阻害するなど心臓や全身に悪い影響をおよぼす⇒**脂肪毒性**

「異所性脂肪」と「脂肪毒性」のWパンチで
心筋梗塞や脳梗塞など命に直結する疾患を引き起こす

65歳未満の年齢調整死亡率
虚血性心疾患と脳血管疾患死亡率の
伸び率 ⇒ 全国一位

中長期的・短期的目標の対象疾患

協会けんぽ 沖縄支部

Table with columns for health metrics: 健康格差の縮小 (Health Disparity Reduction), 中長期的目標の対象疾患 (Long-term Target Diseases), and 短期的目標の対象疾患と健診データ (Short-term Target Diseases and Health Check Data). Rows list prefectures and their respective values for various indicators like life expectancy, mortality rates, and prevalence of chronic diseases.

平成 27 年度 沖縄支部 「データヘルス計画」 概要

協会けんぽのデータヘルス計画の柱

- ア. 特定健診・特定保健指導の推進
- イ. 事業主等の健康づくり意識の醸成を目指した取り組み
- ウ. 重症化予防対策

平成 27年 3月 13日設定

I 健康課題と目標

着目した支部の 健康課題	<p>① 2011年から2012年のZスコアより、『全国と比較して突出して悪い』かつ『2年連続受診者データでも悪化傾向にある』という特徴が見られた「腹囲\geq85cm男性59.1%（2012年全国平均47.2%）」と「中性脂肪\geq150mg/dl男性35.4%（2012年全国平均29.0%）」に着目した。</p> <p>② 「中性脂肪」については、「中性脂肪高値\Rightarrow遊離脂肪酸の増加\Rightarrowインシュリンの作用障害（脂肪毒性）\Rightarrow臓器周囲に脂肪組織として蓄えられる（異所性脂肪）\Rightarrow直接的に臓器障害を引き起こす」ことになる為、これらの対象者は重症化のハイリスク者であるといえる。また、中性脂肪の値は「脳血管疾患、虚血性心疾患、CKD」のリスクに直結していることから、「中性脂肪高値者」の減少は医療費適正化にも資することとなる。加えて、生活習慣改善で最も効果が期待できる指標であることから「脂質異常者（中性脂肪）を減らす取組み」を優先して行うこととした。なお、「腹囲」については測定の誤差があり、データとしての信頼度がやや劣ることから、上位目標には設定していない。</p> <p>③ 上記②の疾患の重大なリスクファクターである「LDL高値」については、憂慮すべき健康課題ではあるものの、その数値の改善には「生活習慣改善」のみでは足りず「薬物療法が主」となることから、上位目標には設定せず、下位目標4の「未治療者への受療勧奨」において取組むこととする。</p> <p style="text-align: center;">※ 沖縄支部のその他の健康課題・・・「高血圧（13.5%）」、「高血糖（13.2%）」、「HDL低値者（7.5%）」（※2012年度健診データより）</p>
-----------------	---

上位目標（成果目標）	目標達成時期 （最終評価時期）	平成 30 年 3 月
35歳～74歳の男性被保険者の脂質異常者(中性脂肪)の割合を5%減らす		

下位目標(手段目標)	評価指標	下位目標の実現のための具体策
1 【コラボヘルス】 福寿うちな～(沖縄) 運動の拡大及び充実	○歩数報告者数及び参加事業所数の状況 ○アンケート結果による事業主・参加者の健康管理意識の改善状況 ○参加事業所の脂質異常者(中性脂肪)数の状況	《拡大策》 ・プレミアムグループ参加事業主に、事業所単位(従業員グループ)の参加を促すため、事業所訪問を行い参加者数を拡大する。 ・業態別では、運輸業における中性脂肪高値者が多いことから、業種団体及び運輸業事業所を訪問し、健康管理意識の醸成に繋がる様々な情報発信を行う。なお、「訪問」は、支部職員でチームを作って実施する。 《充実策》 ・参加事業所の中から、モデル事業所(10～20事業所予定)を選定し、モデル事業所に対しては、支部保健指導担当者による「健康講話の実施」や「ICT」を付与することにより、徹底した健康管理意識の向上に努める。また、モデル事業所については開所式の開催を含め、定期的に「サポーターの集い(仮称)」を催していく。 《ツール等の活用》 ・加入勧奨の際には、「ICT」の活用案内や「事業所健康度診断」を提供することにより、事業主の健康経営意識を高めてもらう。また、参加意欲向上の施策として新たなインセンティブの付与を検討する。

2	健診受診勧奨を行い、受診率の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○健診受診者数の状況 ○福寿うちな～参加事業所の健診受診率の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・福寿うちな～参加事業所の担当者・事業主を対象に、健診受診率や健診結果の情報提供及び脂質異常によるリスク等を説明し、健康に対する意識の高揚を図り、未受診者に対する受診勧奨を行う。 ・健診受診者リスト等を活用するうえ、運輸業における健診受診率の低い事業所を選定し、郵送による「直接勧奨」や「事業所訪問」による受診勧奨を行う。なお「事業所訪問」については、支部職員でチームを作って実施する。 ・公共施設や公共交通機関(バス・モノレール)への健診受診勧奨ポスターの掲示依頼を行う。
3	特定保健指導実施率の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導の実施率の状況 ○中断率or継続率の状況 ○福寿うちな～参加事業所の特定保健指導実施率の状況 ○事業所あたりの初回面接の実施率 ○受入事業所数の推移 ○新規・継続の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトを活用し、事業所単位の特定保健指導を実施する。 ・特定保健指導の受入れを拒否した事業所に対して、支部長や部長、支部職員による「事業所訪問」を行い、特定保健指導の必要性を理解してもらう。 ・対象者へ個別に直接勧奨を行い、特定保健指導を実施する。 ・まちかど特定保健指導の実施 包括協定締結市町村の協力を仰ぎ、市町村の公共施設を活用したまちかど特定保健指導を実施する。 ・平成27年度より、特定保健指導委託機関に対して「継続支援」の外部委託も実施する。
4	未治療者への受療勧奨(おきなわ津梁ネットワークの活用)	<ul style="list-style-type: none"> ○中性脂肪値の推移(重症域レベルで介入した者とそうでない者の平均値) ○医療に繋がった人の数(受療率) ○津梁ネットワークの活用状況(患者登録数) ○ケース毎の改善率(健診結果の中性脂肪値の推移) ○FMDやOGTTの状況(保険者協議会) ○年間の心筋梗塞等発症件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果にて要治療と判定されながら医療機関を受診していない治療放置者に対して、手紙・電話・訪問による受療勧奨を行う。 ・県医師会と同伴でモデル事業所(運輸業と福寿うちな～運動参加事業所)を訪問し、「津梁ネットワークの概要」について説明したうえ、各個人に対して参加登録の勧奨を行い、津梁ネットワークの利用拡大を図る。 また、津梁ネットワーク参加医療機関に対しては、紹介状(国保と共通)にてケースを紹介し、未治療者の治療につなげる。 ・「保険者協議会主催の重症化予防事業」に参画する。 <ul style="list-style-type: none"> ①協会けんぽ加入者について、検査対象者を選定し、受診勧奨をおこなう。 ②同意が得られた検査対象者に対し、検査機関にてFMD(血流依存性血管拡張反応検査)とOGTT(糖負荷試験)を実施する。 【経費については、保険者協議会が負担】 ③検査結果に基づく保健指導を実施し、適正医療に繋げる。

沖縄支部データヘルス計画（概要図）

データ分析

- ・男女とも中性脂肪高値が多く、全国との比較でも突出。また、経年悪化。
- ・腹囲異常者が多く、全国との比較でも突出。また、経年悪化。
- ・高血圧・高血糖も多いが、全国との比較では突出しておらず、経年悪化もなし。

選択

目標設定(上位)

35～74歳の被保険者の脂質異常者（中性脂肪）を減らす

H24中性脂肪高値者
35.4%

事業主の健康意識
向上・協力が必要

まずは健診を受診し
てもらうことが必要

特定保健指導を受け
てもらうことが必要

重症域の方は治療
することが必要

下位目標

コラボヘルスの実施

未受診者へ直接勧奨を行
い受診率の向上を図る

必要性を理解してもらい
特保実施率の向上を図る

重症化予防事業を実施
し未治療者を減らす

方法・手段

モデル事業所

プレミアムグループの
事業所へ参加勧奨

福寿うちなす運動への
加入勧奨(運輸業)

健康講話の実施

ICTの活用

福寿参加事業所への健
診の個別勧奨

運輸業者へ健診受診
の個別勧奨

公共交通機関等への健診受
診勧奨ポスターの掲示

特定保健指導対象
者への直接勧奨

特保受入拒否
事業所への訪問

まちかど特保の実施

アウトソーシングの
拡大・指導内容の充実

脂質異常者に対する
支部独自の立案内

モデル事業所への訪問
(津梁ネット参画勧奨)

頸動脈エコー等の実施
(保険者協議会予算)

保健指導の実施

実施

実施計画書の策定及び実施

評価 指標

アンケート結果
福寿運動への参加状況

健診受診率
(対象者・事業所単位)

特保実施率
中断率、新規・継続割合

レセプト・検査結果
(津梁ネット)活用

成果の評価・手法等の見直し